



足立区教育委員会では SDGs 教育を推進しています。

足立区立花保中学校

校長名 村田 雅也

取組, 1 花保未来ラボ ～キャリア教育の充実～ 〈総合的な学習 5時間〉



9月の土曜授業①校時～③校時に全生徒対象の職業講話を実施する。16種の職業人を講師として招聘し、1講座約15人（一学年5人程度）で講演を聞き、一人3講座受ける。3年生より代表生徒を選出し、司会進行や謝辞を述べさせる。企画・運営は進路指導部で担当し、4月から7月で職業人の人選・折衝、講演教室配置、ディスプレイの準備などに当たる。生徒には事前に希望をとり3年間で9講座を受け、将来の職業選択に向けた知識の習得と視野を広げ、適性のある職業選択するための足掛かりとする。

取組, 2 南花畑食糧対策委員会(MFC) ～フードロスをなくす取組み～ 〈ボランティア活動〉



コンビニエンスストア主催の「フードドライブ」（余った食料品を来店者から預かり、無償で生活支援を必要とする方に配布する取組み）に参加する。本校では学校運営協議会（コミュニティースクール）が中心となり、ボランティア生徒を募集して、PCを使って食料品をデータで管理し、円滑な食品提供ができるよう、活動をする。日頃から「フードロス」を生じさせない意識を高め、持続可能な食料の安定供給に貢献する人材を育成する。

取組, 3 エネルギー環境教育の推進 〈社会科、理科、技術科 全3時間〉



現代のエネルギー生産のしくみ、環境問題とのかかわり、化石燃料を用いた発電から未来に向けた持続可能なエネルギー源への移行など、様々な角度から考えていかなければならないこの課題を教科横断的な授業で取り組む。指導内容の精選、複数教員での役割分担、話し合い活動等を取り入れながら、身の回りの当面すぐにはできることから、未来に向けた持続可能なエネルギーについて考えさせられる授業を実施する。

## 取組, 4 福祉プロジェクト 〈総合的な学習 各学年2時間〉



1年次ボッチャ体験、特別支援学校との交流、2年次車いす体験、3年次認知症サポーター養成講座、事前学習1時間、体験学習1時間で実施する。これらの体験を通じて、障がい者や介護に関する理解を深め、「差別ない社会」や「安心して暮らせる街」づくりへの意識を高める。また各学年保護者、開かれた学校づくり協議会委員、学校運営協議会委員にも参観を呼び掛け、学校から地域へSDGs「持続可能な社会」への移行を発信していく。